

2月 保健だより

令和8年2月3日
荒川区立第一中学校 保健室

令和7年度学校保健委員会を行いました

01



保健給食委員の発表

保健給食委員2年生5名による、委員会活動の報告、委員になって思ったこと、学校生活の中で気をつけたほうが良いと思っていることについて発表しました。保護者からの質問にもしっかり答えられました。

02



参加された方々

学校保健会の構成メンバーの中から内科・歯科・眼科・薬剤師の先生方、学校長・副校長・栄養士・養護教諭、保護者の方3名にご参加いただきました。内科の稲富先生からはインフルエンザ情報、眼科の菅原先生からは近視進行抑制の治療が近々保険適応になるという最新情報！！がありました。

03

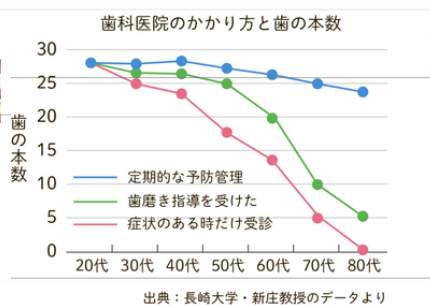
口腔衛生について



こんにちは。荒川2丁目 明治通り沿いサイゼリヤのあるビルの2階で昭和62より開業しております、はやし歯科医院の林邊と申します。
本日は、学校保健委員会の歯科の分野として口腔衛生について簡単にお話ししたいと思っております。

歯科検診の結果より 未処置のう歯(むし歯)がある人数

1年	28人／90人	31%
2年	25人／94人	26.6%
3年	46人／100人	46%
全体	99人／284人	35%



歯科校医による講話

歯科校医の林邊先生より、本校生徒の検診結果や口腔疾患にかかる人の移り変わり、中学生の口腔衛生について、荒川区の状況、舌癌について、口腔ケアの大切さなどについてお話しいただきました。歯は一生使うものなので、毎日のブラッシングやフロスの使用はもちろん、定期的にかかりつけ医にかかることの大切さをお話されていました。中学生は声掛けだけでは変わりません。大人が率先して手本を見せたり、週に1回、家族での染め出しがおすすめとのことでした。

感想・その他

参加して下さった保護者の方からは、校医の先生方への質問も多くありました。ご意見の中には、「事務・主事さんなど、子どもたちから見えない仕事について勉強になった」「口腔ケア以外にもたくさん話が聞けてよかった」「給食のメニューの工夫や生徒の様子聞いてよかった」など温かいメッセージをたくさんいただきました。

講話の一幕

校内は落ち着いていますが、近隣の学校では再びインフルエンザが猛威をふるっています。ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎も流行する時期です。学校でも家庭でも、引き続き感染対策を続けましょう。